

基本政策 8

自立した生活を送ることができる

「障がいのある人もない人も、ともに生き、ともに支えあう“まち”ふじみ」を基本理念として、障がいのある人の尊厳と権利が保障され、地域で自立して生活できる“まち”を目指します。

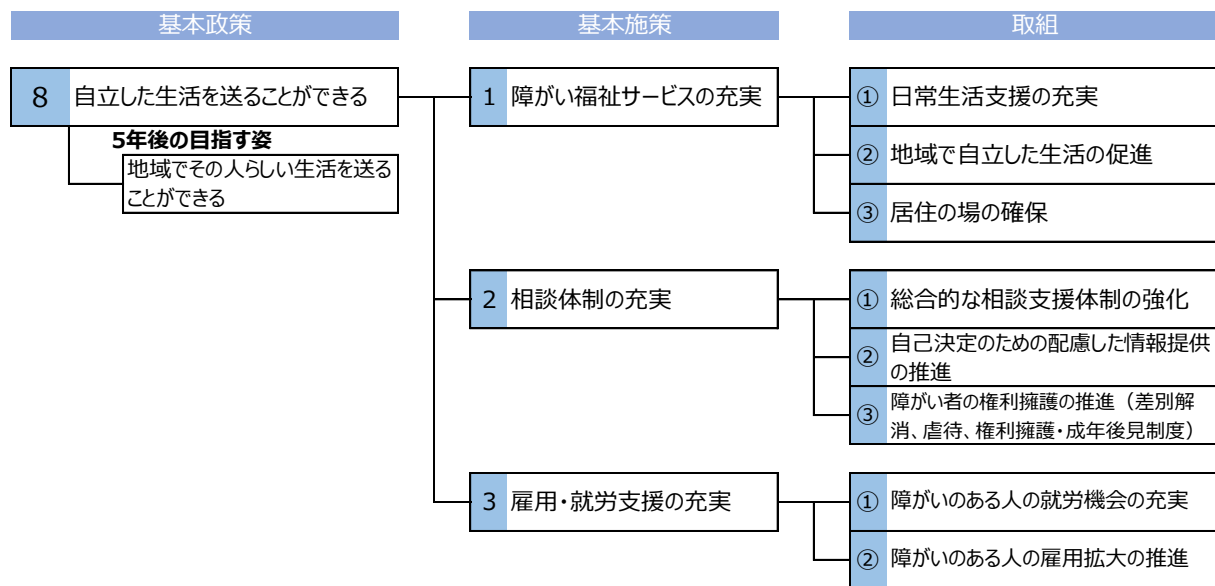
5年後の目指す姿

「地域でその人らしい生活を送ることができる」

障がいのある人が、様々な障がい福祉サービスを利用しながら、自分の持てる力を活かし、その人に合った生活が送れることを目指します。

数値目標	現 状 値	目 標 値
暮らしやすい（「どちらかという」も含む）人の割合 （障がい福祉についての実態調査）	37.1%（R5）	44.5%（R12）

【ロジックモデル】



基本施策

8-1 障がい福祉サービスの充実

必要なサービス提供基盤を充実させるなど、支援体制を強化し、障がいのある人が安心して地域で生活できることを目指し、障がい福祉サービスを充実します。

	指標	現状値	目標値
KPI	自宅、グループホームで暮らしたい人の割合 (障がい福祉についての実態調査)	67.7% (R5)	76.4% (R12)

【主な取組】 日常生活支援の充実

障がいのある人が主体的に必要なサービスを選択できるように、日常生活を支援するための福祉サービスを障がい特性に合わせて、総合的に提供します。

【KSF】	現状値	目標値
障がい福祉サービスで何が利用できるのかわからない人の割合 (障がい福祉についての実態調査)	31.1% (R5) ⇒	20%以下 (R12)

8-2 相談体制の充実

地域で生活する中で、障がいのある人が利用できる支援の情報が得られ、地域で孤立することなく、困ったことが相談できる体制の充実を図ります。

	指標	現状値	目標値
KPI	相談に際して不便なことが「特にない」人の割合 (障がい福祉についての実態調査)	47.5% (R5)	50.2% (R12)

【主な取組】 総合的な相談支援体制の強化

富士見市障害者施策推進協議会¹において、富士見市障がい者基幹相談支援センター²をはじめ、各相談支援事業所の活動について検証し、総合的な相談支援体制を強化します。

【KSF】	現状値	目標値
富士見市障害者施策推進協議会の相談支援部会の開催数	3回/年 (R6) ⇒	3回/年以上 (R12)

¹ 障がいのある人について、地域の実情に応じた支援体制の整備を協議する附属機関

² 障がいのある人の日常生活での困りごとや悩み事、障がい福祉サービスの利用についてなど、様々な相談に応じる機関

8-3 雇用・就労支援の充実

障がい特性やその人の能力に応じた仕事に就き、継続して仕事が続けられるよう、支援するとともに、雇用の拡大を目指します。

KPI	指標	現状値	目標値
	就労支援センター登録者の一般就労と福祉的就労 ³ 者数	299 人 (R5)	423 人 (R12)

【主な取組】 障がいのある人の就労機会の充実

就労に関する相談及び助言、職場定着支援、事業所の開拓、離職後の調整、企業等との調整、日常生活面に関しての助言などにより、障がいのある人の就労機会を充実します。

【KSF】	現状値	目標値
富士見市障害者施策推進協議会の相談支援部会（就労チーム）の開催数	3 回/年 (R6)	⇒ 3 回以上/年 (R12)

関連する SDG s ゴール



障がいのある人が、生産的な雇用や働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)につながる取組を促進します。 関連ターゲット (8-5)



障がい、その他の状況を理由とした、社会的、経済的不平等を是正します。 関連ターゲット (10-2)

関連計画等

第 6 期富士見市障がい者支援計画（令和 6 年度～令和 8 年度）

関連部署

健康福祉部 障がい福祉課

³ 就労支援施設などで福祉サービスを受けながら働く働き方のこと

基本政策 9

ともに生き、ともに支えあう

障がいに対し、市民一人ひとりが理解を深めるとともに、障がいのある人が、その人らしく住み慣れた地域で暮らせる環境づくりを進めることで、障がいのある人もない人も、ともに生き、ともに支え合う「共生社会の実現」を目指します。

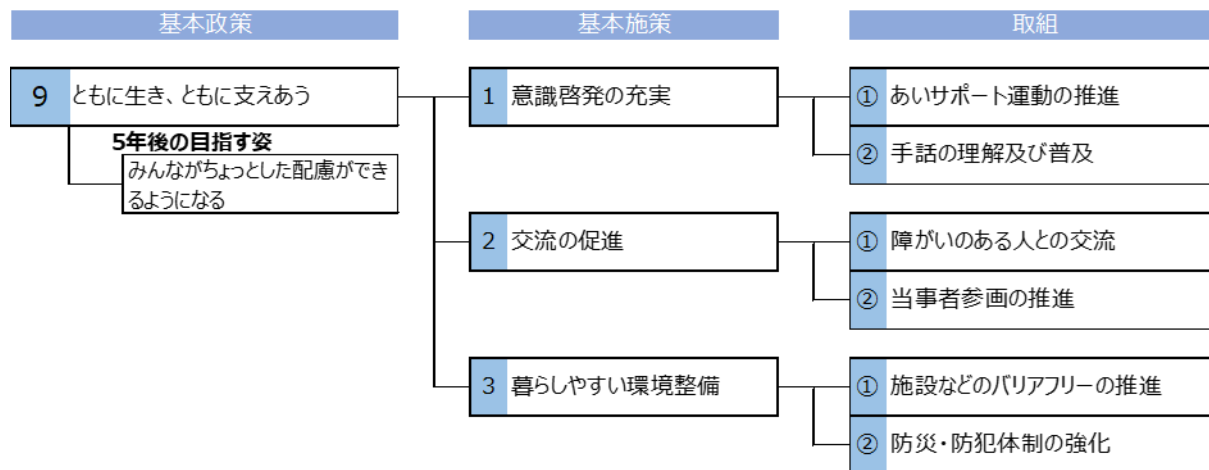
5年後の目指す姿

「みんながちょっとした配慮ができるようになる」

共生社会の実現に向けて、市民一人ひとりが、障害者差別解消法¹の趣旨を理解し、障がいのある人へ必要な配慮ができることを目指します。

数値目標	現 状 値	目 標 値
障害者手帳所持者等のうち配慮がなく困った経験がある人の割合 (障がい福祉についての実態調査)	23.9% (R5)	17.3%以下 (R12)

【ロジックモデル】



¹ 障がいを理由とする差別の解消を推進することを目的として、平成 28 年 4 月から施行された法律

基本施策

9-1 意識啓発の充実

家庭、地域、学校、企業などにおいて、偏見や差別を解消するため、障がいに対する正しい知識と理解を広める意識啓発を充実します。

	指標	現状値	目標値
KPI	あいサポート運動を知っている人の割合 (アンケートモニター調査)	20.6% (R7)	50.4% (R12)

【主な取組】 あいサポート運動²の推進

障がいのある人が、地域の中で自分らしく安心して暮らせる社会の実現を目指して、障がいに対する正しい知識を持ち、ちょっとした配慮ができる「あいサポーター」を養成します。

【KSF】	現状値	目標値
あいサポーター数	11,473 人 (R6)	⇒ 13,000 人 (R12)

9-2 交流の促進

各種活動に積極的に参加する意欲を高めるとともに、障がいのある人となない人とが交流機会を増やすなど、心のバリアを解消する交流を促進します。

	指標	現状値	目標値
KPI	障がいのある人と交流（啓発イベントやボランティアに参加）したことがある人の割合（アンケートモニター調査）	51.7% (R6)	61.3% (R12)

【主な取組】 障がいのある人との交流

広く、障がいのある人の福祉についての関心と理解を深めるとともに、あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めるために、障がいのある人との交流事業等を実施していきます。

【KSF】	現状値	目標値
あいサポートイベントの開催	1 回/年 (R6)	⇒ 継続 (R12)

² 障がいの有無にかかわらず、誰もが暮らしやすい地域社会をみんなでつくっていかうとする運動

9-3 暮らしやすい環境整備

障がいのある人もない人も、すべての人々にとっての暮らしやすさにつながるよう、誰もが暮らしやすい環境整備を推進します。

	指標	現状値	目標値
KPI	市のサービスの情報を得られている人の割合 (障がい福祉についての実態調査)	31.3%(R5)	45.0%(R12)

【主な取組】 防災・防犯体制の強化		
障がいのある人が地域で安心して生活できるよう、日ごろから地域団体などとの連携を図り、防災・防犯対策を進めます。		
【KSF】	現状値	目標値
災害時に助けてくれる人がいない (障がい福祉についての実態調査)	37.1% (R5)	⇒ 20%以下 (R12)

関連するSDGsゴール



障がいなどを理由とした差別を解消し、その人らしさを認め合いながら、ともに生きる社会を目指します。 関連ターゲット (10-2)



様々なパートナーシップを推進し、経験や知識を共有し、ともに生きる社会の構築に向け協力していきます。 関連ターゲット (17-17)

関連計画等

第6期富士見市障がい者支援計画 (令和6年度～令和8年度)

関連部署

危機管理課 協働推進部 文化・スポーツ振興課

健康福祉部 福祉政策課 障がい福祉課 教育部 学校教育課 各公共施設

基本政策 10

心身ともに健康な状態で過ごすことができる

いきいき健康&歯っぴーライフ☆ふじみ（富士見市健康増進計画・食育推進計画、富士見市歯科口腔保健推進計画 後期計画）において、健康づくりの柱と捉えている食生活・運動・健康管理・こころ・口腔について、人生 100 年時代を見据え、ライフステージに応じた支援の充実を図り、望ましい生活習慣の定着を促すことで、健康づくりを推進し、市民が心身ともに健康な状態で過ごせる“まち”を目指します。

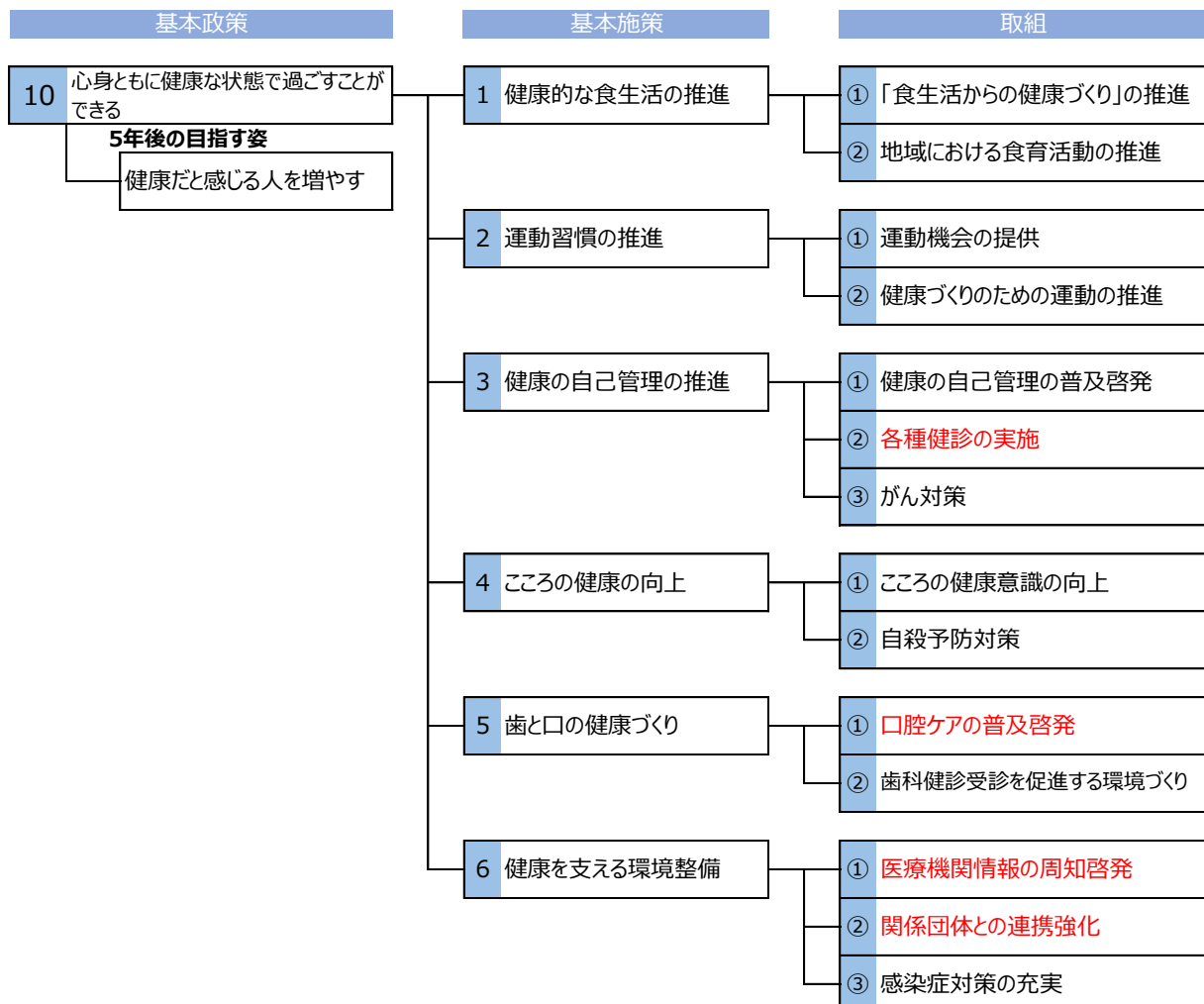
5年後の目指す姿

「健康だと感じる人を増やす」

市民一人ひとりが健康づくりに主体的に取り組み、自ら健康だと感じる人を増やします。

数値目標	現 状 値	目 標 値
健康だと感じる人の割合 (市民意識調査)	77.8% (R6)	85.0% (R12)

【ロジックモデル】



基本施策

10-1 健康的な食生活の推進

食育や望ましい食習慣についての普及啓発を行い、栄養バランスのとれた健康的な食生活を推進します。

	指標	現状値	目標値
KPI	バランスのよい食生活をしている人の割合 (富士見市健康に関するアンケート調査)	59.1% (R6)	70.0% (R12)

【主な取組】 地域における食育活動の推進

地域団体と協働し、身近な場所で健康的な食生活についての普及啓発を進めるなど、地域における食育活動の推進に取り組みます。

【KSF】	現状値	目標値
地域における食育活動の支援回数	87回/年 (R6)	⇒ 100回/年 (R12)

10-2 運動習慣の推進

自分の健康状態や体力に応じた運動・身体活動に取り組めるよう、運動習慣づくりを推進します。

	指標	現状値	目標値
KPI	運動習慣がある人の割合 (アンケートモニター調査)	46.2% (R6)	55.0% (R12)

【主な取組】 運動機会の提供

運動習慣のない人が運動をはじめ、また、運動を継続できるよう、ALKOO マイレージを広く周知するなど、楽しく運動する機会を提供します。

【KSF】	現状値	目標値
ALKOO マイレージ ¹ の参加者数	1,670 人 (R6)	⇒ 3,470 人 (R12)

¹ 歩数計のような機能をもつウォーキングアプリで手軽に健康づくりが実践できる事業

分野 7 健康づくり

10-3 健康の自己管理の推進

定期的に健（検）診を受けられることができる環境を整え、自らの健康管理ができるようになることを目指します。

	指標	現状値	目標値
KPI	定期的に健診を受けている人の割合 (アンケートモニター調査)	73.2% (R7)	75.9% (R12)

【主な取組】 健康の自己管理の普及啓発

健康の自己管理を進めるため、健康教育や健康相談等の様々な場面を通じて周知します。

【KSF】	現状値	目標値
健康教育・健康相談の実施	93 回 (R6)	⇒ 100 回 (R12)

10-4 こころの健康の向上

様々なこころの健康問題について、正しい知識を得て、適切に相談や受診ができるよう、こころの健康に関する普及啓発や情報提供に努め、こころの健康の向上を目指します。

	指標	現状値	目標値
KPI	相談できる人や場所がない人の割合 (富士見市健康に関するアンケート調査)	38.2% (R6)	34.4% (R12)

【主な取組】 自殺予防対策

自殺は、その多くが、様々な社会的要因によって心理的に追い込まれた末の死であることから、地域において、ゲートキーパー²の育成や相談のできる居場所づくりの環境整備など、自殺予防対策に取り組みます。

【KSF】	現状値	目標値
ゲートキーパー養成講座 受講者数	653 人 (R6)	⇒ 923 人 (R12)

² 自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応を図ることができる人

10-5 歯と口の健康づくり

多くの市民が、歯と口の健康づくりについての知識を身につけ、自ら正しい口腔ケアを実践できることを目指します。

	指標	現状値	目標値
KPI	何でも嚙んで食べることができる人の割合 (富士見市健康に関するアンケート調査)	88.4% (R6)	90.0% (R12)

【主な取組】 口腔ケアの普及啓発

口腔ケアについて、関係機関との連携、協働により歯科口腔保健の知識の普及に取り組みます。

【KSF】	現状値	目標値
歯科口腔教室の実施回数	48 回/年 (R6)	⇒ 54 回/年 (R12)

10-6 健康を支える環境整備

医師会や町会等の関係団体との連携を強化し、健康に関する情報の提供に努め、地域で健康を支える環境を整備します。

	指標	現状値	目標値
KPI	地域の医療機関を知っている人の割合 (アンケートモニター調査)	89.1% (R7)	90.2% (R12)

【主な取組】 医療機関情報の周知啓発

ホームページ等を活用し、医療情報へアクセスしやすい環境を整えるとともに、講座等を通じて医療機関情報を積極的に提供します。

【KSF】	現状値	目標値
医療機関情報の提供数	3,200 枚 (R6)	⇒ 4,500 枚 (R12)

分野 7 健康づくり

関連する SDG s ゴール



すべての人々が健康的な生活を送れるように、市民一人ひとりの健康づくりを支援します。

関連ターゲット (3-4、3-5、3-8、3-a、3-d)



様々な地域資源とともに、効果的な事業を展開します。

関連ターゲット (17-17)

関連計画等

富士見市健康増進計画・食育推進計画、富士見市歯科口腔保健推進計画 後期計画 (令和3年度~令和7年度)

第2期富士見市自殺対策計画 (令和4年度~令和7年度)

関連部署

市民部 保険年金課

子ども未来部 保育課

健康福祉部 福祉政策課、障がい福祉課、健康増進センター

経済環境部 農業振興課

教育部 学校給食センター

分野 9 文化芸術・文化財

暮らし

つながり

生活環境

成長

基本政策 13

心豊かな生活を送ることができる

市民とともに培ってきた文化芸術の土壌を活かし、いつでも、どこでも、誰でも気軽に文化芸術に触れられる機会の創出により、市民一人ひとりが、心豊かな生活を実感できる“まち”を目指します。

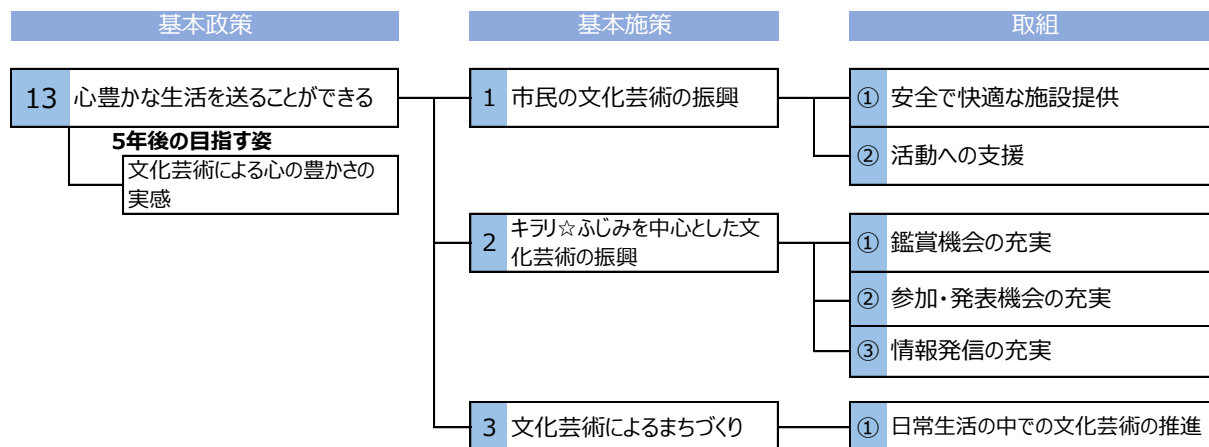
5年後の目指す姿

「文化芸術による心の豊かさの実感」

市民一人ひとりが、いつでも、どこでも、誰でも気軽に文化芸術に親しむことができるように、活動環境や鑑賞機会を充実させるとともに、わかりやすい情報発信に努め、文化芸術による心の豊かさを実感できることを目指します。

数値目標	現 状 値	目 標 値
「市民文化の創造」に対する満足度 (市民意識調査)	61.6% (R6)	70.0% (R12)

【ロジックモデル】



基本施策

13-1 市民の文化芸術の振興

安全で快適な施設の提供や活動に対する様々な支援を**行うこと**により、市民が文化芸術活動に取り組みやすい環境づくりを進め、**市民の文化芸術振興を図ります。**

	指標	現状値	目標値
KPI	文化芸術活動環境に対する満足度 (アンケートモニター調査)	48.3% (R6)	60.0% (R12)

【主な取組】 安全で快適な施設提供

誰もが安全で安心して利用できる快適な活動環境を提供するため、ユニバーサルデザインにも配慮し、公共施設マネジメント¹の個別施設計画と連動した計画的な施設の修繕・改修を進めます。

【KSF】	現状値	目標値
個別施設計画に基づいた施設の修繕・改修の実施	計画に基づく施設 整備の実施 (R6)	⇒ 計画に基づく施設 整備の継続 (R12)

13-2 キラリ☆ふじみを中心とした文化芸術の振興

文化芸術の発信拠点であるキラリ☆ふじみを中心として、いつでも、どこでも、誰でも気軽に文化芸術に接することや、参加することのできる環境づくりに取り組むことで文化芸術を振興します。

	指標	現状値	目標値
KPI	文化芸術事業に対する満足度 (アンケートモニター調査)	44.7% (R6)	60.0% (R12)

【主な取組】 鑑賞機会の充実

日頃から文化芸術に親しむ方々だけでなく、仕事や子育てなどに追われ、文化芸術に触れる機会の少ない方々や、**障がいのある方、外国籍の方**にも、キラリ☆ふじみを中心とした身近な公共施設で文化芸術に親しめる機会を創出します。

【KSF】	現状値	目標値
鑑賞会等の参加者数	31,506 人 (R6)	⇒ 32,000 人 (R12)

¹ 安全で安心な公共施設機能の提供と安定した財政運営を両立するため、市が保有する全ての公共施設について、総合的かつ統括的に、企画、管理及び利活用を進め、経費の削減や平準化を行うもの

13-3 文化芸術によるまちづくり

あらゆる地域資源の活用等により、日常生活の中で文化芸術に親しむことができる機会を充実し、文化芸術によるまちづくりを推進します。

	指標	現状値	目標値
KPI	「豊かな生活が送れている」と回答した割合 (アンケートモニター調査)	57.7% (R6)	60.0%(R12)

【主な取組】 日常生活の中での文化芸術の推進

身近な場所を活用したコンサートの実施やまちなかを活用したアート空間の創出など、日常生活の中での文化芸術を推進します。

【KSF】	現状値	目標値
文化芸術実施状況調査 ² 回答事業数	66 事業 (R6)	⇒ 70 事業 (R12)

関連する SDG s ゴール



誰もが文化芸術を、観て、触れて、体験できる環境の提供に取り組めます。

関連ターゲット (4-7、4-a)



日常生活の中で文化芸術に親しめる機会を創出し、地域の文化振興に取り組めます。

関連ターゲット (8-9)



文化芸術を通じた社会包括による、誰も取り残さないまちづくりに取り組めます。**関連ターゲット (11-3)**

関連計画等

第2次富士見市文化芸術振興基本計画 (令和6年度～令和13年度)

関連部署

協働推進部 文化・スポーツ振興課、交流センター、コミュニティセンター

教育部 公民館

² 第2次富士見市文化芸術振興基本計画に基づき、毎年度実施する取組をまとめたもの

基本政策 14

地域の歴史や伝統文化を通して地域に魅力を感じる

地域独自の歴史や伝統文化を学ぶ、体験する機会を通して、郷土に魅力を感じ、愛着と誇りを抱ける“まち”を目指します。

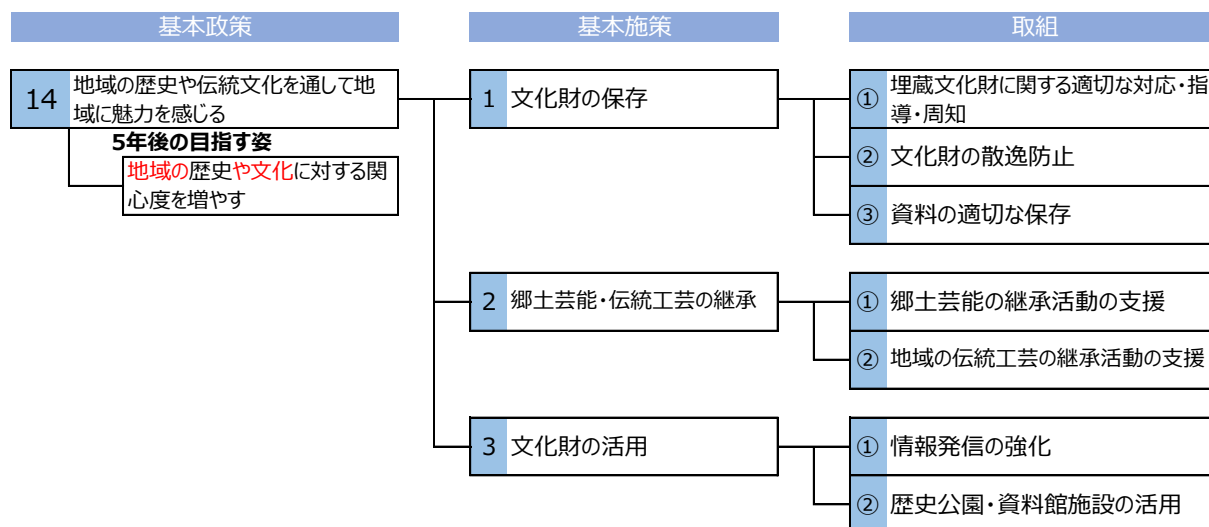
5年後の目指す姿

「地域の歴史や文化に対する関心度を増やす」

地域の歴史、文化の継承を支えるため、市民が率先して学習や体験の場に参加するなど、魅力ある資源として、自分たちのまちの歴史や郷土芸能に関心を持つことを目指します。

数値目標	現 状 値	目 標 値
「富士見市で魅力ある資源」のうち、歴史・史跡等を選択した割合（市民意識調査）	8.6% (R6)	18.6% (R12)

【ロジックモデル】



基本施策

14-1 文化財の保存

市内に所在する歴史資源、文化資源、発掘調査により出土した埋蔵文化財を適切に保存し、各種文化財を良好な状態で後世に残していくことを目指します。

KPI	指標	現状値	目標値
	市指定文化財の総件数	36 件 (R6)	38 件 (R12)

【主な取組】 資料の適切な保存

文化財資料を後世に残していくことを目指し、適切な保存と活用をしています。

【KSF】	現状値	目標値
保存処理 ¹ 件数	7 件 (R6) ⇒	12 件 (R12)

14-2 郷土芸能・伝統工芸の継承

市民と協力し、後継者の育成や支援をしていくことで、地域で守り継がれてきた郷土芸能や伝統工芸が途絶えることのないよう継承していくことを目指します。

KPI	指標	現状値	目標値
	郷土芸能や伝統工芸に関係する活動を継続して行っている団体数	11 団体 (R6)	維持 (R12)

【主な取組】 郷土芸能の継承活動の支援

郷土芸能や保存団体の活動を情報発信するなど、地域の郷土芸能の継承活動を支援します。

【KSF】	現状値	目標値
市指定文化財の郷土芸能保存団体の活動件数	67 件 (R5) ⇒	維持 (R12)

14-3 文化財の活用

市民が郷土の歴史、文化をまちの魅力と感じられるように、文化財の活用事業を充実します。

KPI	指標	現状値	目標値
	資料館来館者数 (水子貝塚資料館・難波田城資料館)	86,508 人/年 (R6)	110,000 人/年 (R12)

【主な取組】 歴史公園・資料館施設の活用

地域の歴史、文化の特徴を生かした講座や体験イベントを企画し、歴史公園や資料館施設を市民との協働により活用します。

【KSF】	現状値	目標値
主催・共催事業実施数	280 回 (R1~R5) ⇒	300 回 (R8~R12)

¹ 金属器や脆弱な土器資料等の錆進行防止・強化復元等

関連する SDG s ゴール5



市民に、文化財を通して、質の高い知識を習得する機会を提供します。

関連ターゲット（4-7）



地域の歴史・文化を保存・継承・活用し、文化遺産の保護・保全への意識を高めていきます。 関連ターゲット（11-4）

関連計画等

第3次富士見市教育振興基本計画（令和5年度～令和9年度）

関連部署

協働推進部 文化・スポーツ振興課

教育部 生涯学習課、資料館

基本政策 15

自由な学びにより生きがいができる

心豊かに暮らせるまちづくりの実現のため、市民一人ひとりが自由に学び、生きがいを実感できる“まち”を目指します。

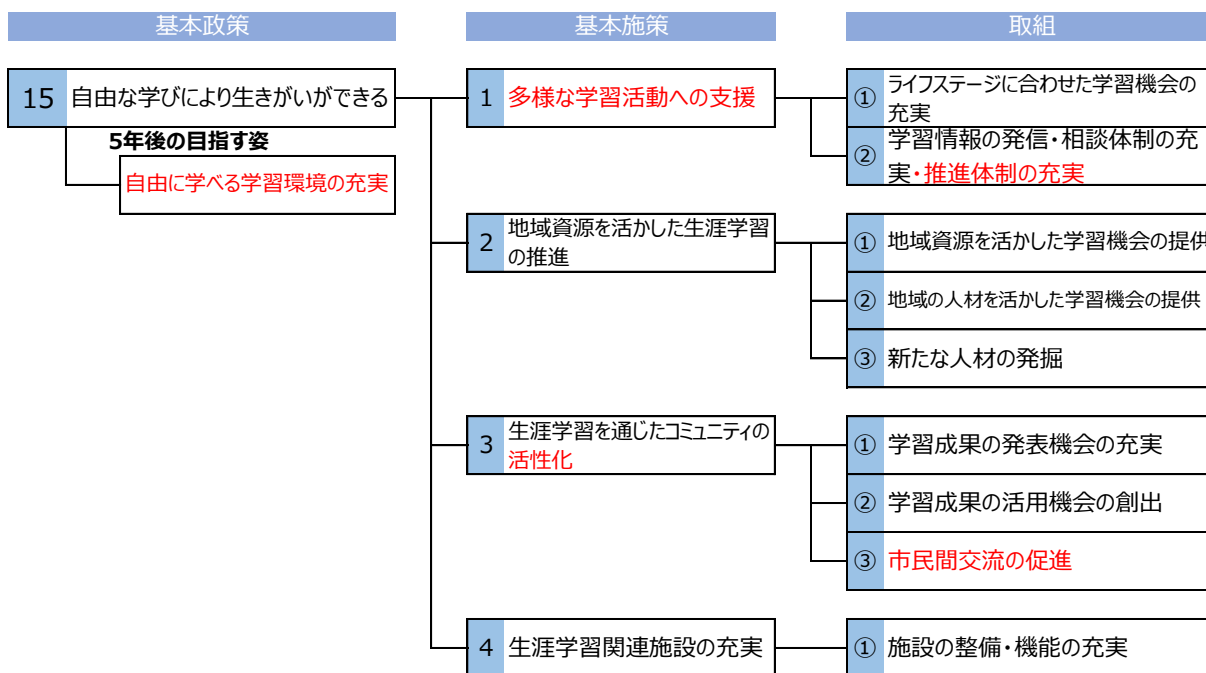
5年後の目指す姿

「自由に学べる学習環境の充実」

市民一人ひとりの様々な学びの意欲に応じることにより、いつでも、どこでも、誰でも学べる学習環境の充実を目指します。

数値目標	現 状 値	目 標 値
自由に学べる学習環境に対する満足度（市民意識調査）	46.7%（R6）	50.0%（R12）

【ロジックモデル】



基本施策

15-1 多様な学習活動への支援

ライフステージに応じた学習機会の提供や、学習情報の発信、相談体制の整備などにより、多様な学習活動に取り組めるよう支援します。

	指標	現状値	目標値
KPI	生涯学習活動を行っていると感じた人の割合 (アンケートモニター調査)	37.6% (R7)	48.0% (R12)

【主な取組】 ライフステージに合わせた学習機会の充実

既存の事業に加えてデジタル技術を活用した事業開催など、ライフステージのニーズに合わせた学習機会の充実に取り組みます。

【KSF】	現状値	目標値
自分のライフステージに合った事業が行われていると感じる人の割合 (アンケートモニター調査)	26.9% (R6)	⇒ 35.0% (R12)

15-2 地域資源を活かした生涯学習の推進

自然環境、産業、歴史、郷土芸能などの地域資源や、知識や経験を持つ多彩な市民を活かした生涯学習を推進します。

	指標	現状値	目標値
KPI	地域資源を活かした講座の参加者数	5,344 人 (R5)	6,700 人 (R12)

【主な取組】 地域資源を活かした学習機会の提供

水子貝塚などの各種遺跡、獅子舞やお囃子などの郷土芸能、本市が持つ多彩な地域資源を活用し次世代にもつなげる学習機会を提供します。

【KSF】	現状値	目標値
資料館等で実施する地域資源を活かした特色のある事業数	17 事業 (R6)	⇒ 20 事業 (R12)

15-3 生涯学習を通じたコミュニティの活性化

生涯学習における学習成果の発表や学び合い、多世代にわたる市民同士の交流の機会などを通じて人と人とのつながりを増やします。

	指標	現状値	目標値
KPI	生涯学習活動を通じて、人と人とのつながりが増えたと回答した人の割合 (アンケートモニター調査)	30.4% (R7)	39.0% (R12)

【主な取組】 学習成果の発表機会の充実

様々な生涯学習活動を通じて学んだ知識や経験、成果を発表できる機会を充実します。

【KSF】	現状値	目標値
文化祭等の参加人数	13,282 人/年(R6)	⇒ 17,000 人/年(R12)

15-4 生涯学習関連施設の充実

多様化する学習形態への対応と、誰もが安全で使いやすいユニバーサルデザインに配慮した、生涯学習関連施設の充実を図ります。

	指標	現状値	目標値
KPI	生涯学習活動を行う施設環境に対する満足度 (アンケートモニター調査)	49.3% (R6)	65.0% (R12)

【主な取組】施設の整備・機能の充実

多様化する学習活動を支援するため、公民館や交流センター、図書館などの機能の充実と計画的な施設整備に取り組み、DX推進のための設備導入や活用を進めていきます。

【KSF】	現状値	目標値
各公民館・交流センター・コミュニティセンター・ ピアザ☆ふじみ・図書館の利用者数	518,925 人/年(R6) ⇒	585,000 人/年(R12)

関連するSDGsゴール



市民が平等かつ公正に学ぶ機会を保障し、学びが生きがいづくりと心豊かに暮らせるまちづくりにつながるよう取り組みます。 関連ターゲット（4-2、4-3、4-5、4-7）



様々なパートナーシップを推進し、経験や知識、技術を共有し、生涯学習機会や支援等の充実に向け、協力していきます。 関連ターゲット（17-17）

関連計画等

第3次富士見市教育振興基本計画（令和5年度～令和9年度）

第3次富士見市生涯学習推進基本計画（令和3年度～令和7年度）

関連部署

協働推進部 協働推進課、文化・スポーツ振興課、人権・市民相談課、交流センター、
コミュニティセンター

子ども未来部 保育課、子ども未来応援センター

健康福祉部 福祉政策課、高齢者福祉課、健康増進センター

経済環境部 環境課

教育部 生涯学習課、公民館、資料館

基本政策 16

一人ひとりが尊重され、誰もがともに活躍できる

すべての市民がお互いの基本的人権を守り、一人ひとりが尊重され、個性や能力を発揮して活躍することができる“まち”を目指します。

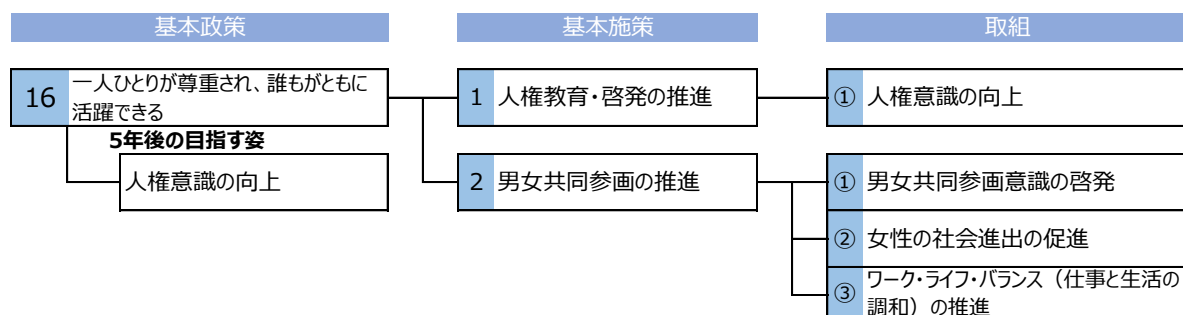
5年後の目指す姿

「人権意識の向上」

人権について考えることができる機会の拡充に努め、人権の大切さを知り、**一人ひとりの多様性を認め合い**、互いを尊重する市民意識の広がりを目指します。

数値目標	現 状 値	目 標 値
人権が侵害されたことがないと回答する割合 (市民意識調査)	75.3% (R6)	80.0% (R12)

【ロジックモデル】



基本施策

16-1 人権教育・啓発の推進

インターネット上の人権侵害、性的マイノリティにかかわる人権問題など、様々な人権課題の解決を図るとともに、一人ひとりの多様性を認め合い、尊重しあえる社会となることを目指して、人権教育・啓発活動を推進します。

	指標	現状値	目標値
KPI	人権の大切さを認識している割合（アンケートモニター調査）	96.0%（R6）	98.0%（R12）

【主な取組】 人権意識の向上

関係機関と連携を図りながら、多様な機会を通じて、継続的な啓発活動を行い、人権意識の向上に取り組めます。

【KSF】	現状値	目標値
広報による啓発等の実施回数	4回/年（R6）⇒	継続（R12）

16-2 男女共同参画の推進

性別に関わりなく、誰もがその個性と能力を発揮しながら、あらゆる分野に参画できる、ジェンダー平等・男女共同参画社会の実現を目指します。

	指標	現状値	目標値
KPI	男女共同参画の推進に対する満足度（市民意識調査）	48.2%（R6）	53.0%（R12）

【主な取組】 男女共同参画意識の啓発

固定的な性別役割分担意識の解消を目指す講演会・セミナー等の実施や、学校での教育など、あらゆる世代へ男女平等・男女共同参画意識の啓発を図ります。

【KSF】	現状値	目標値
講演会・セミナー等の開催件数	3回/年（R6）⇒	継続（R12）

関連するSDGsゴール



人の多様性を尊重するとともに、男女共同参画社会の実現に向けて取り組むことで、一人ひとりの力をまちづくりに活かします。 関連ターゲット（5-1、5-2、5c）



人権の大切さを知り、互いを尊重することにより、差別をなくし、人権の大切さを広めていきます。 関連ターゲット（10-3）

関連計画等

富士見市男女共同参画プラン（第4次）（令和3年度～令和12年度）

関連部署

協働推進部 人権・市民相談課 子ども未来部 子育て支援課

経済環境部 産業経済課 教育部 生涯学習課、学校教育課

分野 14 防犯・交通安全

暮らし

つながり

生活環境

成長

基本政策 20

交通事故が起きないまちで生活ができる

交通安全意識の向上を図ることで、交通事故による死傷者数を減少させ、交通事故が起きない安全な“まち”を目指します。

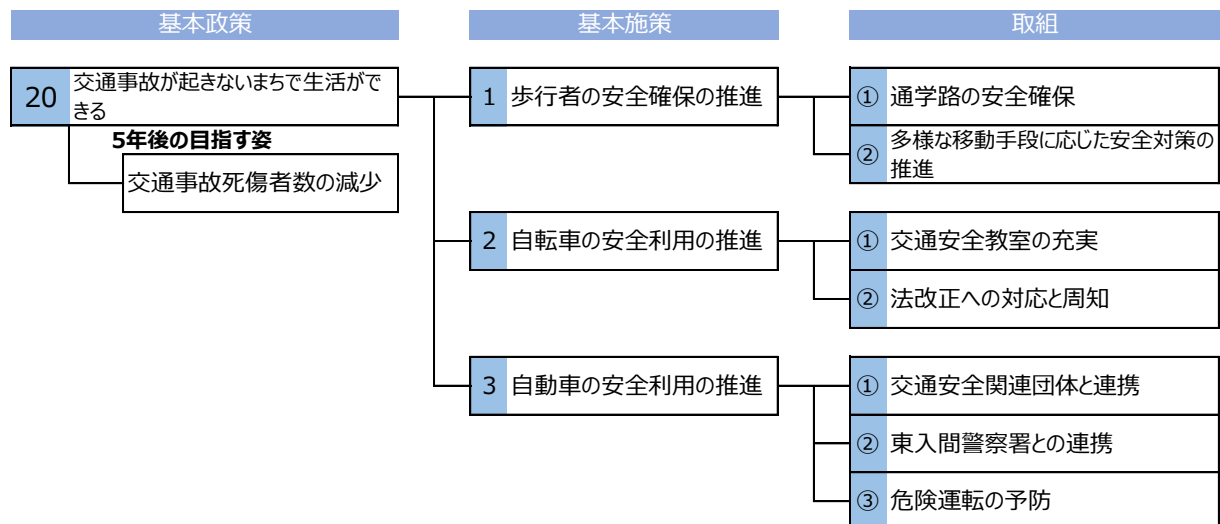
5年後の目指す姿

「交通事故死傷者数の減少」

歩行者、自転車、自動車等のそれぞれが、互いの持つ特性を理解し、事故を防ぐための手段を実行するなど、市内における交通事故死傷者数の減少を目指します。

数値目標	現 状 値	目 標 値
交通事故死傷者数 (東入間警察署からの提供資料)	124 名 / 年 (R6)	87 名 / 年 (R12)

【ロジックモデル】



基本施策

20－1 歩行者の安全確保の推進

通学路の安全確保や車椅子やシニアカー¹利用者に対する市民の理解と交通安全意識の向上の支援を行うなど、歩行者の安全確保を推進します。

KPI	指標	現状値	目標値
	交通事故死傷者数（歩行者）	17 名/年（R6）	12 名/年（R12）

【主な取組】 多様な移動手段に応じた安全対策の推進

車椅子やシニアカー利用者等も含めた歩行者に対する市民の理解と交通安全意識の向上を支援するなど、多様な移動手段に応じた安全対策を推進します。

【KSF】	現状値	目標値
車椅子やシニアカーに関する啓発	0 回/年（R6）	⇒ 1 回/年（R12）

20－2 自転車の安全利用の推進

学校や地域での交通安全教室を充実させ、自転車用ヘルメットの着用等、自転車の安全利用を推進します。

KPI	指標	現状値	目標値
	交通事故死傷者数（自転車）	36 名/年（R6）	25 名/年（R12）

【主な取組】 交通安全教室の充実

交通安全意識の向上を図るため、学校との連携や地域団体への支援など、東入間警察をはじめとした関係機関と連携し、交通安全教室の充実を図ります。

【KSF】	現状値	目標値
地域団体主催の交通安全教室の実施回数	3 回/年（R6）	⇒ 5 回/年（R12）

¹ 主に高齢者が利用する、座りながら移動ができる電動車椅子のこと

20-3 自動車の安全利用の推進

東入間警察署や交通安全関係団体と連携し、ドライバーに対する安全意識の周知啓発や情報発信を行うことにより、交通事故死傷者数（自動車等）の減少を図ります。

KPI	指標	現状値	目標値
	交通事故死傷者数（自動車）	71 名/年（R6）	50 名/年（R12）

【主な取組】東入間警察署との連携

「きらめき 3H 運動²」の周知啓発などを行い、交通安全意識の向上を図ります。

【KSF】	現状値	目標値
広報やホームページの掲載回数	0 回/年（R6）	⇒ 2 回/年（R12）

関連する SDG s ゴール



市全体で交通安全意識を向上させ、歩行時や自転車、自動車運転時のそれぞれで安全対策を促進することで、交通事故による死傷者数の減少に取り組みます。

関連ターゲット（3-6）



交通指導員の立哨や地域住民の方や PTA と連携した活動など、多様なパートナーシップにより通学路の安全確保に取り組みます。（17-17）

関連計画等

関連部署

協働推進部 協働推進課 教育部 学校教育課

² 高齢歩行者等の安全確保を目的として、早めのライト点灯、反射材の着用、歩行者保護の 3 つの H を重点に交通事故防止を呼びかける運動